

主な研究活動

2005年度 研究推進会議

第1回 4月15日 (研究推進会議委員の交代、COE研究員 (RA) の選考、中間評価のヒアリングの実施 及び各関係調書等の提出について 他)

第2回 4月20日 (研究拠点形成費の実績報告書、中間評価ヒアリング提出資料、国際シンポジウム実施計画案について 他)

第3回 5月25日 (情報発信及び実験展示・高度学芸員養成に関するワーキンググループ編成、海外提携機関への若手研究者派遣、COE研究員(RA)の指導教授について 他)

2005年度 全体会議

第1回 5月13日(中間評価ヒアリング報告、研究拠点形成費の実績報告書、本年度研究実施計画について他)

2005年度 研究会 (2005年4月~5月実施分)

全 体

第1回・5月13日 各班リーダー/昨年度の総括と本年度活動目標について 八久保 厚志/『環境と景観の資料化と体系化にむけて』を発行して

班

4月4日・1班 ジョン・ボチャラリ/昨年度の英文翻訳作業の経過と問題点

4月15日・1班 今年度の東アジア生活絵引の編さんのための図像読み取り作業

4月27日・2班 川田 順造 / 人力運搬の方法、回転道具の回転方向など、道具と身体技法についての 問題担却

問題提起

5月12日・4班 木下 慶子(工学部木下研究室)/非文字資料による情報資源と情報流通の管理

5月25日・1班 『常民生活絵引』マルチ言語版の編さんのための翻訳成果の検討

5月25日 · 2班 河野 通明 / 非文字資料体系化の方法論をめぐって

ワークショップ

4月28日 「歴史研究における図像資料のデジタル化」 (研究会報告 P.24、25参照)

主催:外国語学研究科中国言語文化専攻、神奈川大学21世紀COEプログラム

共催:神奈川大学 人文学会

司会:大里 浩秋(神奈川大学)

柴山 守(京都大学東南アジア研究所)

情報技術と歴史・文化研究 空間情報としてみる非文字資料

小野 博(コンテンツ株式会社)

非文字資料の大規模デジタルアーカイブと先端技術

貴志 俊彦(島根県立大学)

近代東アジアの文字 / 非文字資料のデジタル化と公開利用

孫 安石(神奈川大学)

戦争と画報 「支那事変」関連の画報と租界

主な研究活動

現 地 調 杳

(2005年1月~5月実施分)

福田 アジオ、菊池 勇夫、君 康道、金 貞我、田島 佳也、中村 ひろ子、富澤 達三

宮城県仙台市(1月21日~22日)

山口 建治

宮城学院女子大学、宮城県美術館、東北歴史博物館他での現地調査、 および近世・近代生活絵引きの編さんのための研究会の開催

奈良県奈良市・兵庫県神崎郡・大阪府三島郡(2月3日~5日)

興福寺・日本玩具博物館・伏偶舎郷土玩具資料館等での追灘行事と人形博物館の現地調査

田島 佳也 北海道 札幌・帯広(3月4日~8日)

十勝毎日新聞社、開拓記念館、北海道大学附属図書館北方資料室でのアイヌ絵の調査・収集

彭 国躍 中国 上海(3月17日~23日)

復旦大学・華東師範大学での色彩意味論に関する社会言語学術研究の実施

河野 通明 山口県岩国市・光市他(3月21日~24日)

岩国市民具収蔵庫・光市歴史民俗資料館・本郷村歴史民俗資料館他での在来農具の比較調査

小馬 徹 ケニア ナイロビ他・イギリス ロンドン他(3月20日~31日)

ケニアのナイロビ市を中心に勃興している新たな混成語であるシェン語の現地参与**観察調査**、および文献調査

佐野 賢治、孫 安石、中村 政則、網野 暁 福島県南会津郡(3月26日~29日)

只見町教育委員会で民俗民具資料の現地調査および資料・データ・検索化の検討

夏 宇継 中国 雲南省麗江市(4月1日~9日)

納西族の東巴・求寿儀式の調査

河野 通明 静岡県三島市・藤枝市・島田市(4月14日~15日)

三島市郷土資料館・藤枝市郷土博物館・島田市博物館他での在来農具の比較調査

金 貞我、田島 佳也、中村 ひろ子、前田 禎彦 | 千葉県佐倉市(5月6日)

国立歴史民俗博物館での江戸図屏風原本の見学と図像史料の処理についての聞き取り調査

北原 糸子 ロシア サンクトペテルブルク (5月16日~21日)

ロシア中央海軍博物館他でモジャイスキーの「下田の情景」(1854年当時)等についての現地調査

廣田 律子 秋田県田沢湖町(5月22日~23日)

わらび座デジタルファクトリーにて能楽師関根祥人氏の動きを対象にモーションキャプチャーによる デジタル資料の収録

河野 通明 長野県長野市・千曲市・小布施町他(5月26日~28日)

長野県立歴史館、長野市立博物館、小布施町歴史民俗資料館他での在来農具の比較調査

金 貞我 香港 (5月26日~29日)

香港大学博物館での所蔵品 (絵画中心) の見学と調査